



『歓喜の歌』

ファンキー・ヴァージョン

ロック系のリズムでアレンジしました。編成はドラム、ベース、ギター、キーボードなど、バンドのイメージです。全てのパートをピアノ1台が網羅するためにも、太くてパンチのある音色で弾くのがフィットするでしょう。左手は、最後までゆるぎないベース・ラインに徹してください。しっかりとビートを刻むセンスが必要です。

＼推奨／トレーニング

8ビート・トレーニング(p.116、118)

ベース・ライン・トレーニング(p.120)

グリッサンド・トレーニング(p.134)